

公益社団法人砥粒加工学会北陸信越地区部会

平成 28 年度 第 1 回研究・見学会を終えて
～ マコー株式会社（新潟県長岡市）～

1. はじめに

北陸信越地区部会の平成 28 年度第 1 回研究・見学会は、7 月 28 日（木曜日）にウエットブラスト加工技術開発と装置製造等を行っている新潟県長岡市のマコー株式会社を訪問し、本社工場の見学会を行うと共に、超音波切削加工における加工メカニズムの可視化やウエットブラスト加工法の原理と適用事例に関する講演会を開催した。梅雨が明けたばかりの北信越地方であったため、快晴に恵まれた。また、参加者は当初の募集定員を上回る 31 名となり、梅雨明けの暑い夏と同様に最新の情報交換ができる熱い議論ができる講演会となった。講演会の様子を以下に報告する。



講演会の会場の様子

2. 講演会

研究講演会の開会に先立ち、沢田地区部会長（中村留精密工業(株)）の挨拶の後、新井亮一氏（長野県工業技術センター）の司会の元で講演会が開始された。

講演会では、最初に「被削材内部応力可視化技術による超音波振動切削の現象究明と応用展開」と題し、長岡技術科学大学 機械創造工学専攻 准教授 磯部浩已 氏よりご講演を賜り、続いて「ウエットブラスト工法の原理と適用事例」と題してマコー株式会社 開発部 小方 雅淑 氏よりご講演を賜り、マコー株式会社の会社紹介と取り組み加工の原理について、それぞれ 50 分ずつご紹介いただいた。また、講演後の討論も大変活発に行われた。



長岡技術科学大学 機械創造工学専攻
准教授 磯部浩已 氏

3. 見学会および技術交流会

講演会終了後、約 10 分の休憩をはさみ、見学会が行われた。この見学会では、参加者が多数であったために、3 班に分かれて、ショールームや生産工場を見学させていただいた。見学途中で実演も行ってもらい、見学者から多くの質問があった。ウエットブラスト加工技術の今後の可能性について学ぶことができた大変興味深い見学会であった。

見学会終了後は会場をアクアレー長岡に移し、15 名が参加して技術交流会が行われた。交流会では地元の地酒を飲みながらいろいろな情報交換が活発に行われた盛大な会となった。



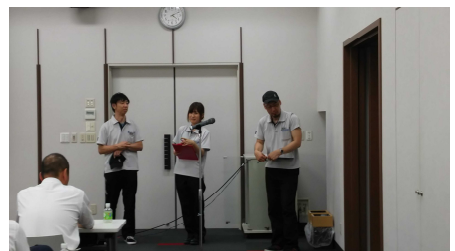
マコー株式会社
開発部
小方 雅淑 氏

4. おわりに

今回の研究見学会は長岡技術科学大学の磯部氏とマコー株式会社様の多大なるご協力によって開催することができました。磯部氏とマコー株式会社の関係各位に深甚なる謝意を表します。

また、北陸信越地区部会では、今後も北陸信越地域のユニークな取り組みをしている会社や技術を発信したいと思っております。今後も是非北陸信越地区部会の企画にご参加下さい。

（文責：諏訪部仁）



工場見学でお世話になった
マコー（株）の皆様方